

学会発表
(国際学会)

1. Takeshi Nakahara. Pathogenesis of atopic dermatitis and current status of its management in Japan. Keimyung University 40th Anniversary Symposium 2022年2月12日 Korea. (Invited lecture)
2. Yamamura K. DOCK8-EPAS1 signaling associates IL-31 production in atopic dermatitis. Transplantation Research Institute Winter Symposium. 2022年12月9日, Seoul, South Korea.
3. Toshio Ichiki, Hidetaka Yamamoto, Takamichi Ito, Yoshinao Oda, Takeshi Nakahara. 20th annual meeting of Korean Society of Dermatopathology 2022 May 28th Online. CPC speaker. A case of erythroderma
4. Tanaka Y, Ito T, Tanegashima K, Tsuji G, Nakahara M, Nakahara T. Nectin cell adhesion molecule 4 regulates angiogenesis and serves as a novel therapeutic target in angiosarcoma. The 47th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology. 2022/12/2-4, Nagasaki, Japan
5. Kamimura A, Nakamura Y, Matsushita S, Fujisawa Y, Matsuya T, Maeda T, Uhara H, Oashi K, Yanagisawa H, Yoshino K, Funakoshi T, Miyagawa T, Takenouchi T, Hatta N, Kiniwa Y, Kiyohara Y, Yokota K, Isei T, Uchi H, Shibayama Y, Ito T, Fukushima S, Yamazaki N. Concordance in judgment of clinical borders of basal cell carcinomas in Japanese patients. 18th European Association of Dermato Oncology. 2022/4/21-23, Seville, Spain.
6. Namikawa K, Ito T, Yoshikawa S, Yoshino K, Kiniwa Y, Takenouchi T, Kato H, Mizunashi S, Yamamoto Y, Fujisawa Y, Yamasaki O, Nakamura Y, Asai J, Maekawa T, Matsushita S, Nakano E, Oashi K, Uhara H, Miyagawa T, Yamazaki N. Real-world outcomes of Asian patients with advanced BRAF-mutant melanoma treated with first-line BRAF/MEK inhibitors, anti-PD-1 monotherapy, or combination of nivolumab plus ipilimumab: A multicenter retrospective study in Japan (B-CHECK-RWD study). 2022 American Society of Clinical Oncology. 2022/6/3-7, Chicago. USA
7. Nakamura Y, Sano Y, Kataoka T, Shibata T, Fukuda H, Matsushita S, Fujisawa Y, Takenouchi T, Omodaka T, Yamamura K, Aoki M, Uchi H, Tsutsui K, Yoshikawa S, Ogata D, Yanagisawa H, Omatsu J, Ito T, Namikawa K, Yamazaki N. Confirmatory trial of narrower side margin excision for head and neck basal cell carcinoma in the Japanese (East Asian) population: JCOG2005 (J-BASE-MARGIN). 2022 American Society of Clinical Oncology. 2022/6/3-7, Chicago. USA

(国内学会)

1. 竹内聡.「実践！プロアクティブ療法～こどもと大人～」大人のプロアクティブ療法. 第 38 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 2022/4/23(土) かがしま県民交流センター(鹿児島市)
2. 内 博史. コロナ禍におけるがん診療. 第 38 回日本皮膚科医会総会・臨床学術大会. シンポジウム 2022/4/23. 鹿児島
3. 内 博史, 和田尚子. 5年間のCRの後に再発したメラノーマの1例. 日本皮膚科学会愛媛地方会第75回学術大会. 2022/10/8. 松山
4. 中原剛士.ウパダシチニブがもたらすアトピー性皮膚炎治療の新展開 ～新しい診断治療アルゴリズムを踏まえて～.第 4 回日本アレルギー学会中国・四国地方会 2022 年 1 月 29 日 (松山) (ランチョンセミナー)
5. 中原剛士.アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2021 ～改訂のポイントと抗ヒスタミン薬の位置づけ～.アトピー性皮膚炎治療研究会 第 27 回シンポジウム 2022 年 2 月 6 日 (長崎) (ランチョンセミナー)
6. 中原剛士.アトピー性皮膚炎治療の新時代 ―新規薬剤の現状・可能性と課題について―.第 95 回日本薬理学会年会 2022 年 3 月 8 日 (福岡)(シンポジウム 25)
7. 中原剛士.アトピー性皮膚炎治療における外用療法の重要性.第 8 回総合アレルギー講習会 2022 年 3 月 27 日 (神戸) (教育セミナー9)
8. 中原剛士.ここまで進んだ！ アトピー性皮膚炎の病態・かゆみメカニズム.第 38 回 日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 2022 年 4 月 23 日(鹿児島).(シンポジウム 1)
9. 中原剛士.アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2021 ～改訂のポイントと抗ヒスタミン薬の位置づけ～.第 38 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 2022 年 4 月 24 日(鹿児島) (モーニングセミナー2)
10. 中原剛士.新ガイドラインに沿ったアトピー性皮膚炎診療とバイオマーカー.第 121 回日本皮膚科学会総会 2022 年 6 月 2 日 (京都) (ランチョンセミナー7)
11. 中原剛士.アトピー性皮膚炎に対する抗体医薬による治療.第 121 回日本皮膚科学会総会 2022 年 6 月 2 日 (京都) (教育講演 2)
12. 中原剛士.アトピー性皮膚炎の病態を理解する 2022.第 121 回日本皮膚科学会総会 2022 年 6 月 2 日 (京都) (教育講演 7)
13. 中原剛士.ADGL2022 から紐解くアトピー性皮膚炎の新治療戦略.第 121 回日本皮膚科学会総会 2022 年 6 月 4 日 (京都) (ランチョンセミナー23)
14. 中原剛士, 膳所菜保子.かゆみ・炎症・バリアの相互作用からみたアトピー性皮膚炎の病態における MAPK 経路の関与の解明.第 121 回日本皮膚科学会総会 2022 年 6 月 4-7 日 (京都)
15. 中原剛士.アトピー性皮膚炎治療における JAK 阻害薬の適正使用 ～新ガイドラインからみえてくること～.日本皮膚科学会茨城地方会 2022 年 7 月 3 日(茨木).(モーニングセ

ミナー)

16. 中原剛士.皮膚科領域における生物学的製剤 ～現状と展望～.第71回 日本アレルギー学会学術大会 2022年10月7日 (東京)(シンポジウム2)
17. 中原剛士.アトピー性皮膚炎の病態から考える適切な抗炎症外用薬の使い方.第71回アレルギー学会学術大会 2022年10月7日 (東京)(教育セミナー1)
18. 中原剛士.ガイドラインに沿ったアトピー性皮膚炎の治療戦略.第71回 日本アレルギー学会学術大会 2022年10月9日 (東京)(教育セミナー17)
19. 中原剛士.病態から考えるアトピー性皮膚炎の治療 strategy ～ADGL2021 から紐解く～.第74回 日本皮膚科学会西部支部学術大会 2022年10月23日 (久留米)(モーニングセミナー2)
20. Takeshi Nakahara.JAK inhibitors in the treatment of atopic dermatitis.31st International Symposium of Itch 2022年11月12日 (東京)
21. 中原剛士.臨床試験から考えるアプロシチニブの有用性.第86回日本皮膚科学会東京支部学術大会 2022年11月20日 (東京)(ランチョンセミナー10)
22. 中原 剛士, 有馬 和彦, 藤田 浩之.日本人アトピー性皮膚炎患者の治療法別疾患コントロールの実態.第52回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会 2022年12月16日(名古屋)
23. 中原剛士.ADにおける痒みのメカニズムと患者 QOL への影響.第52回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会 2022年12月17日(名古屋)(ランチョンセミナー4)
24. 中原剛士.蕁麻疹の病態解明のこれまで.第52回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会 2022年12月17日(名古屋)(イブニングセミナー)
25. 中原剛士.アトピー性皮膚炎の病態と治療 ～かゆみに着目した新規治療と今後の展望～.日本皮膚科学会長崎地方会 2022年12月24日 (長崎)(スポンサードセミナー2)
26. 中原真希子.基調講演 アトピー性皮膚炎における2型炎症-デュピルマブの作用と治療アルゴリズムにおける位置づけ- 第4回日本アレルギー学会九州・沖縄支部地方会、2022/3/5、福岡
27. 辻学.経口 JAK 阻害薬によるアトピー性皮膚炎の治療について 日本皮膚科学会第347回長崎地方会 2022年4月10日 WEB開催
28. 辻学.乾癬における痒みのコントロールについて 日本皮膚科学会第160回宮崎地方会 2022年4月17日 宮崎市
29. 辻学.油症研究から生まれた新しい外用薬 -TAMA- 第38回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 2022年4月23日 鹿児島市
30. 辻学.化膿性汗腺炎と乾癬の繋がり 第38回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 2022年4月24日 鹿児島市
31. 辻学.アトピー性皮膚炎におけるType2炎症による皮膚バリア機能障害の機序 第121回日本皮膚科学会総会 2022年6月3日 京都市

32. 辻学.アトピー性皮膚炎と乾癬の痒みに関連する最トカインプロファイルの違い 第 121 回日本皮膚科学会総会 2022 年 6 月 4 日 京都市
33. 辻学.尋常性乾癬に IL-23 阻害薬を投与中に発症した体部白癬・足爪白癬の2例 第 89 回九州真菌懇話会 2022 年 7 月 31 日
34. 辻学.掌蹠膿疱症の病態と治療について 第 74 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2022 年 10 月 22 日 久留米市
35. 辻学.IL-23 の産生機構に注目した乾癬治療 第 73 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2022 年 10 月 30 日 富山市
36. 辻学.アトピー性皮膚炎における経口 JAK 阻害薬の役割 第 86 回日本皮膚科学会東京支部学術大会 2022 年 11 月 20 日 東京都
37. Gaku Tsuji. Mechanism of skin barrier dysfunction by Type 2 inflammation in atopic dermatitis The 47 th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology 2022 年 12 月 2 日 長崎市
38. Gaku Tsuji, Akiko Hachiya, and Takeshi Nakahara. PDE4 inhibition by difamilast regulates filaggrin and loricrin expression via keratinocyte proline-rich protein in human keratinocytes The 47 th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology 2022 年 12 月 2 日 長崎市
39. 工藤恭子, 田阪祐子. 実践! こどものスキンケア「アトピー性皮膚炎と皮膚バリア」「現場で役立つスキンケア」第 31 回日本外来小児科学会年次集会スポンサードハンズオンセミナー 2022/8/28 福岡市
40. 工藤恭子. 小児アトピー性皮膚炎外用療法の最前線「こどものアトピー性皮膚炎～基本の外用療法～」2022 JSPACI-APAPARI Joint Congress 第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会 APAPARI2022 合同開催 ランチョンセミナー11 2022/11/13 宜野湾市 ハイブリッド開催
41. 工藤恭子, 横手銀珠, 加野善平, 古野憲司. 当院における乳児血管腫の治療 第 403 回福岡地方会 九州大学皮膚科中原剛士教授就任記念地方会 2022/11/26-27 福岡市 ハイブリッド開催
42. 中村美沙.皮膚科を楽しもう～それぞれの立場でみつける fun～.日本皮膚科学会第74回西部支部総会 キャリア支援委員会ミニレクチャー 2022/10/22,久留米
43. 伊東孝通.教育講演 MM の早期診断と免疫染色 第 121 回 日本皮膚科学会総会 2022/6/5 京都市
44. 杉山晃子, 岡部公樹, 福嶋健人, 岸川禮子, 小島薫, 小田真紀子, 本莊哲, 吉田誠, 松本舞, 室田浩之.成人における食物アレルギーの有病率その関連要因の検討. 第 4 回日本アレルギー学会九州・沖縄支部地方会 2022/3/5 WEB
45. 杉山晃子.職業アレルギーとしての成人食物アレルギー. 第 121 回日本皮膚科学会総会 2022/6/4 京都

46. 杉山晃子. Itch Tracker を用いた夜間の掻破行動の評価と痒みが睡眠に及ぼす影響についての検討. 第 46 回日本小児皮膚科学会 スポンサーシップシンポジウム 2022/7/2 幕張
47. 杉山晃子, 池田奈央. 外来で役立つアトピー性皮膚炎のチーム医療. 第 31 回日本外来小児科学会年次集会 ランチョンセミナー12 マルホ株式会社 共催 2022/8/28 福岡
48. 杉山晃子, 岡部公樹, 福嶋健人, 岸川禮子, 下條尚志, 佐藤美希, 中村政志, 松永佳世子. 成人発症の卵アレルギー. 第 71 回日本アレルギー学会学術大会 2022/10/8 東京
49. 原口祐子, 中原真希子, 中原剛士. 第 150 回広島地方会、特徴的な臨床を呈した汗孔角化症の 1 例、2022/2/26、広島
50. 和田尚子, 内 博史. 早期メラノーマの親子例. 第54回南区合同症例検討会. 2022/2/16. 福岡
51. Nahoko Zeze, Makiko Kido-Nakahara, Gaku Tsuji, Eriko Maehara, Yuki Sato, Takeshi Nakahara. Role of ERK pathway in the pathogenesis of atopic dermatitis and its potential as a therapeutic target : 日本研究皮膚科学会 第 47 回年次学術大会・総会 2022 年 12 月 2 日 長崎 ハイブリッド開催
52. Toshio Ichiki, Yuichi Yamada, Takamichi Ito, Yoshinao Oda, Takeshi Nakahara. Histological and Immunohistochemical Prognostic Factor of Angiosarcoma. 日本研究皮膚科学会第 47 回年次学術大会総会 2022/12/3(土)(長崎市、ハイブリッド開催)
53. 西尾紀一郎, 永井貴子, 黒木千晶, 占部和敬. 水痘・帯状疱疹ウイルス抗原検出キットの有用性について. 第 74 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 久留米市 2022/10/22
54. 独 孤 龍, 王 黎 亜, 東 岡 和 彦, 幸 田 太. 多発性皮下硬結を契機に SLE の診断に至った 1 例. 日本皮膚科学会第 74 回西部支部学術大会 2022/10/23, 久留米市
55. 塩道泰子, 竹内 聡. アダリムマブが奏功した難治性壊疽性膿皮症の 1 例. 第 400 回福岡地方会 2022/ 3/13 (日) ホテルニューオータニ博多(福岡市、ハイブリッド開催)
56. 成富真由香, 中原真希子, 中原剛士, 河野通浩, 長井拓哉, 萩朋男. 第 74 回日本皮膚科学会西部支部学術大会、*ATP2A2* 遺伝子の体細胞モザイクを示した片側性ダリエ病の一例、2022/10/22 久留米市
57. 成富真由香, 冬野洋子, 中原真希子, 中原剛士, 石井文人, 名嘉真武国. 第 403 回福岡地方会、*ケラチン 14* 遺伝子変異を認めた単純型表皮水疱症の父子例、11/26 福岡市
58. 永井貴子, 佐古 梓, 原田佳代, 河内茂人, 占部和敬. 多発転移のみられた Clear cell sarcoma の 1 例. 日本皮膚科学会第 400 回福岡地方会 福岡市 2022/3/13
59. 永井貴子, 佐古梓, 原田佳代, 占部和敬, 今山修平. シクロスポリン内服が奏功した Annular Elastolytic Giant Cell Granuloma の 1 例. 第 121 回日本皮膚科学会総会 京都 2022/6/3

60. 水野亜美, 仲本すみれ, 廣瀬朋子. 多発性外毛根鞘嚢腫の 1 例. 日本皮膚科学会第 403 回地方会. 2022 年 11 月 26 日. 福岡市
61. 石倉侑, 梶原文照, 竹内聡. 皮膚ノカルジア症と COVID-19 感染症を併発した一例. 第 74 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2022/ 10/22 (土) 久留米シティプラザ(久留米市、ハイブリッド開催)
62. 河村耕治, 武信肇, 廣瀬朋子, 工藤恭子, 中原剛士. 北九州市で発生した日本紅斑熱の 1 例. 日本皮膚科学会第 401 回地方会 2022/7/10 久留米市 ハイブリッド開催
63. 河村耕治, 本田遼馬, 菊池智子. コロナワクチン接種後に発症した尋常性乾癬の 1 例. 日本皮膚科学会第 403 回地方会 2022/11/26 福岡市 ハイブリッド開催
64. 竹井 樹, 村田 真帆, 橋本 弘規, 大野 文嵩, 辻 学, 中原 真希子, 中原 剛士. 第 234 回熊本地方会福島聡教授就任記念地方会、足底に生じた Bowen 病の 1 例、2022/3/12、熊本
65. Takei I, Ito T, Murata M, Ide T, Tsuji G, Kido-Nakahara M, Nakahara T. Outcomes of Burn Injury in Children: An Analysis of 100 cases in Kyushu University、第 121 回日本皮膚科学会総会、2022/6/2、京都
66. 本田遼馬, 末永亜紗子, 菊池智子. アバタセプト投与中にも関わらず下腿潰瘍を生じたリウマチ性血管炎の 2 例. 第 86 回日本皮膚科学会東部支部学術大会. 2022/08/27. 新潟市
67. 四本周, 塚田全, 田中美緒. 腹部皮下硬結として認めた Manson 孤虫症の 1 例. 日本皮膚科学会宮城地方会学術大会第 397 回例会. 2022 年 3 月 5 日. 仙台市.
68. 四本周, 三井英俊, 亀井克彦. Trichosporon ovoides による皮膚深在性真菌症の 1 例. 第 86 回日本皮膚科学会東部支部学術大会. 2022 年 8 月 27 日. 新潟市.
69. 四本周, 武藤雄介. 若年男性に生じた後爪郭部色素性ボーエン病の 1 例. 日本皮膚科学会宮城・福島・山形 3 県合同地方会学術大会第 399 回例会. 2022 年 9 月 23 日, 仙台市.
70. 松本紗也加, 伊東孝通, 難波実那子, 今嶋真緒, 大野文嵩, 永江航之介, 辻学, 中原真希子, 桐生美麿, 中原剛士. 第 403 回福岡地方会、当院で経験した onychopapilloma の 5 例、2022/11/27、福岡市
71. 王 黎亜, 独 孤 龍, 濱 崎 友 佳, 白 土 基 明, 幸 田 太. 第 121 回 日本皮膚科学会総会. 新型コロナワクチン接種後に生じた扁平苔癬の一例. 2022/6/2-5, 京都市
72. 王 黎亜, 濱 崎 友 佳, 関 口 大 樹, 吉 野 俊 平, 幸 田 太. 第 401 回 福岡地方会. 草刈り鎌による外傷を契機に破傷風を発症した 1 例. 2022/7/10, 久留米市
73. 黒木千晶, 永井貴子, 西尾紀一郎, 占部和敬. IgA 血管炎様紫斑を呈した白血病皮膚浸潤の 1 例. 日本皮膚科学会第 401 回福岡地方会 久留米市 2022/7/10
74. 黒木千晶, 永井貴子, 西尾紀一郎, 占部和敬. 血管内リンパ腫の症例と当院での過去 13 症例の検討. 日本皮膚科学会第 403 回福岡地方会 福岡市 2022/11/26

75. 利谷理沙子, 横山翌香, 隈有希, 中原剛士. 下腹部右側に生じた皮膚原発粘液癌の1例. 日本皮膚科学会第403回福岡地方会 九州大学皮膚科 中原剛士教授就任記念地方会 福岡市 2022/11/27(ハイブリッド開催)
76. 中山優香, 石倉侑, 竹内聡. ポリコナゾール長期内服の患者に生じた有棘細胞癌の1例. 第74回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2022/10/22(土) 久留米シティプラザ(久留米市、ハイブリッド開催)